

この子らと

令和8年1月号

命輝く子ども

謹賀新年

わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男



明けましておめでとうございます。

今年もよろしく願いいたします。(職員一同)



「一年の計は、元旦にあり」とは戦国時代の武将毛利元就が息子に送った手紙に書いてあったと言われています。

「物事は、初めが最も大切で、物事を始めるには最初の計画をしっかりと立てておくべきだ。」と。

儒学者であり教育者の安井息軒の「三計の教え」もあります。

「一日の計は朝にあり。一年の計は春にあり、一生の計は少壮(青年)にあり」

どちらも『**人生において、はじめにきちんと計画を立て、一日一日を大切生きることの重要性を説いています。**』

職員もまた、「未来からのメッセンジャーである子どもたちのために、がんばろう。」と目標をたてて新年を迎えてくれていると思います。

一年の計を実現するためには、足元を見失うことなく、一日一日の目標をきめて確かに生きていくことが大切です。「**一日の計は朝にあり**」です。



「**今日一日、子どもたちのために何ができるか**」

日に新たに、日々新たに、また、日に新たなり(大学)

お正月で一句

心から大きく見ゆる初日哉
つく羽を犬がくわえて参りけり



ふるさとの山に向かいて言うことなし ふるさとの山はありがたきかな(石川啄木)

私は、父の転勤の関係で現伊佐市で生まれ、5歳まで過ごしました。20年後に伊佐市に2年間勤務したことがあります。伊佐市に足を踏み入れた瞬間、故郷の自然に抱かれているような安心感を感じました。自分が変わろうとも、故郷の自然は、悠然といつも見守ってくれる存在です。

子どもたちの育ちのために

- ☆ 励ましを受けて育った子は、自信がつけます
- ☆ 公明正大な中で育った子は、正義感をもちます
- ☆ 人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大切にします
- ☆ なかまの中で育った子は、世界に愛を見つけます
- ☆ ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります
- ☆ 心が寛大な人の中で育った子は、がまん強くなります

～可愛くば、五つ教えて、三つほめ、三つ叱って良き人とせよ(二宮尊徳)

今年も子どもたちの成長のために、保護者のみなさまと職員と同じ方向を向いて様々な課題に取り組んでいけたらと思っています。

「愛とは、お互いに見つめ合うことでなく、一緒に同じ方向を見つめることである。」(サン＝テグジュベリ)のことばどおり、**子どもたちのためにという共通の目標**に向かって手を携えていきたいと願っています。今年もかわらずよろしく願いいたします。